

日本共産党宇治市会議員団 議会報告・市政要求懇談会

日本共産党宇治市会議員団の議会報告・市政要求懇談会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

24年12月定例会では、物価対策として市独自の施策ではなく、国の補正予算に盛り込まれた交付金の枠内で、①水道の基本料金などの減免（2期4ヶ月分）、②住民税非課税世帯へ給付金（1世帯3万円等）の補正予算が提出されました。党議員団も賛成し、可決されました。

中学生から校則問題、また学校給食費無償化、保育の充実を求める3本の請願がありました。党議員団はいずれも賛成しました。自民・公明・うじ未来（立憲・国民など）・維新が反対し、いずれも不採択になりました。

12月定例会の報告、新年度予算の報告を中心に議会報告と、皆様からご意見等をお伺いし、今後の議会活動等に活かしたいと思います。

ぜひご参加いただき、ご意見、ご質問、ご要望などをお聞かせ下さい。

日時：2025年2月14日（金）

午後7時～8時30分

場所：ゆめりあ うじ（4階 研修室）

Miyamoto Sigeo



宮本繁夫

Sakamoto Yuko



坂本優子

Yamazaki Tatsuku



山崎たすく

Ōkawa Naoyuki



大河直幸

Tokunaga Miki



徳永未来

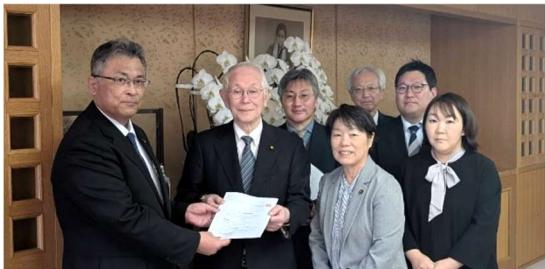
Tanigami Haruhiko



谷上晴彦



市長に、来年度の予算要望書を提出



日本共産党市会議員団は1月29日、松村市長に対し、2025年度の予算要望書を提出しました。

予算要望では、水道料金などの公共料金を引き下げるなど、物価高騰から市民生活を守る施策を積極的に実施することを求める項目から始まり、18歳までの医療費の無料化、学校給食費の無償化、デマンドタクシー（予約制乗り合い）の導入など、重点要望21

を要望しました。

物価高騰のもとで、市から国に、地方自治体への財政支援を求めるなど、P F A Sの発出源調査や健康調査への財政支援を求めるなどとの要望や、水道の広域化・民営化などを進めないことなどを市から京都府に求めるよう要望しました。

また、市の部局別の要望、各議員の生活相談担当地域に対応した地域要望など、合計で362項目の実現を求めました。

議員団は、対応した川口副市長と懇談し、川口副市長は「要望を踏まえて、当初予算の編成作業にあたっていく」と応えました。

議員団 ミサイル訓練中止を求め申し入れ

宇治市は2月2日、国の内閣官房、消防庁、京都府と共同で、弾道ミサイルを想定した府内初の国民保護訓練を、宇治市役所近隣で実施しました。

「某国からの弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」として、消防団員や地域の防災リーダーにも参加を呼びかけました。

当日は、市役所前の「あんしん館」をメイン会場にし、訓練の概要が説明されました。ミサイルが発射されJアラートが発出されたとの想定で、通行人役の市民などを、市役所地下に誘導する訓練などがおこなわれました。

この訓練は松村市長の肝いりで進められ、国に対して積極的に宇治市が誘致して実施したものです。

日本共産党宇治市会議員団は、訓練実施に先立つ1月29日、松村市長に



対し、訓練中止を求める申し入れを行いました。

申し入れでは「今回の避難訓練は、市民に不安と危機感を煽って戦争への道に向かわせるもの」と批判し、「市民の生命を守る有効な道は、平和への強い希求を持って、対話を通じて相手に対する理解、相互信頼を広げていくこと」と指摘し、訓練の中止を求めました。

党議員団は「訓練の名で戦意高揚を煽るもの」として、対応した危機管理官に、強く訓練の中止を求めました。